

あいち朝日遺跡ミュージアム



朝日遺跡マスコットキャラクター「アカ」と「クロ」

観覧料

区分	個人	団体 (20名以上)	年間 パスポート	清洲城 共通券	体感したみ古墳群 ミュージアム共通券
一般	300円	250円	1,000円	550円※	400円
大学生・高校生	200円	150円	600円	—	300円

学校行事(高校以下)及びその引率者、中学生以下、障がい者の方及びその付添いの方(1名まで)は無料
※清洲城共通券は(令和6年3月31日まで)500円→(令和6年4月1日から)550円

施設案内

- 住所 〒452-0932 愛知県清須市朝日貝塚1番地
- 電話 052-409-1467 ● 開館時間 9:30~17:00
- 休館日 月曜日(祝休日の場合、翌平日)及び年末年始(12/28~1/3)



あいち朝日遺跡

検索

SNSもご覧ください 公式Webサイト <https://aichi-asahi.jp/>



復元建物と体験水田



ミュージアム本館



映像・ジオラマで朝日遺跡を紹介



土器の造形

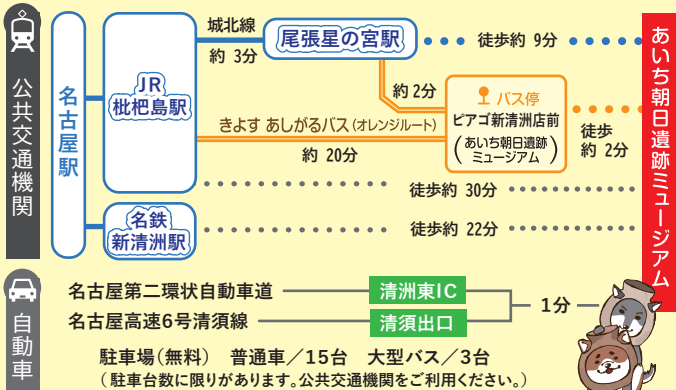


重要文化財朝日遺跡出土品



キッズ考古ラボで弥生道具体験!

アクセス



編集・発行 あいち朝日遺跡ミュージアム 2024年3月

重要文化財

2023年度

愛知県朝日遺跡出土品の保存修理



えすじじょうこうえんだいつきがめ
S字状口縁台付甕 (重要文化財)

朝日遺跡は、清須市、名古屋市西区に所在する、弥生時代の大規模な環濠集落です。逆茂木・乱杭などからなる強固な防御施設、埋納された銅鐸、玉作りの工房跡など、重要な発見が相次ぎ、東海地方を代表する弥生集落として知られています。

平成24年9月には、貴重な出土品2,028点が重要文化財に指定されました。その内容は、土器・土製品727点、木器・木製品253点、石器・石製品650点、ガラス小玉121点、金属製品37点、骨角牙貝製品240点と多岐にわたり、弥生時代の多様な生業、生産・流通の様相を考証し、精神生活を推察するうえで極めて重要な資料となっています。

愛知県では、この貴重な文化遺産を、将来にわたって大切に保存・活用するために、国の補助を受け、平成25年度から重要文化財朝日遺跡出土品の保存修理事業を実施しています。

愛知県

土器・土製品

遺跡で見つかる土器のほとんどは、割れて破片となって出土します。これらをパズルのようにつなぎ合わせ、接着剤や石膏を用いて、元の形へと復元します。図や写真など記録を作成した後は、そのまま収蔵庫に保管されます。しかし、復元後長い年月が経つと、接着剤や石膏による接合部が劣化し、形にゆがみが生じ、最悪壊れてしまうことがあります。

土器の保存修理は、まず土器を解体し、破片の状態に戻します。再度破片を接合し、元の形を復元していきます。欠損部は樹脂で補い、補彩します。このように保存修理された土器は形状が安定し、長期間の保存や展示等公開できるようになります。2023 年度は、甕形土器 5 点の保存修理を実施しました。

保存修理の工程 甕形土器 45 (262)^{*}

※番号は種別ごとの番号 (指定通番号)



①修理前
接合部や古い石膏が劣化し、土器が壊れやすくなっていました。



④修理完了
樹脂で補った部分を彩色し目立たなくし、完成です。



②解体
土器の接着剤を除去し、破片の状態に戻します。



③接合・樹脂充填
再度破片を接合し、欠損部を樹脂で補います。

2023 年度に修理した土器



甕形土器 6 (223)



甕形土器 45 (262)



甕形土器 47 (264)



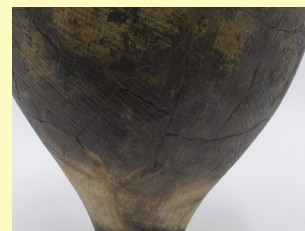
甕形土器 52 (269)



甕形土器 57 (274)

煮炊きに用いられた土器

重要文化財に指定されている朝日遺跡出土品のうち、甕形土器は 74 点あります。弥生土器の「甕」は主に煮炊きに用いられた土器で、現代では鍋や炊飯器に当たる道具です。出土品を観察すると、土器の外側にはススが付着しており、口から肩にかけて吹きこぼれた痕が残っているものもあります。これらの煮炊きの痕跡は、弥生時代の土器の使用方法や調理の仕方を知る手掛かりとなります。



外面に付着したスス
甕形土器 52 (269)



吹きこぼれの痕
甕形土器 70 (287)



復元甕を用いた米の炊飯